

# リプタコ・グルマ安定化ファシリティ

- ・プロジェクト期間：2024年3月~2025年3月
- ・パートナーシップ：日本政府／UNDPマリ事務所
- ・予算：122万8,276米ドル

サヘル地域の他の国々と同様、マリは長引く紛争、気候変動関連の災害、これらショックからの国民の立ち直りの鈍さにより、おびただしい数の課題に直面しています。こうした課題は政情不安によって、さらに深刻化しています。

バンディアガラ州では、特に若者と女性の間で貧困が広がり、経済の多様化も進んでいません。女性と若者の脆弱性は引き続き重要な課題となっています。これが暴力行為に至るリスクは多岐にわたり、経済的機会の欠如や、女性と若者をはじめとする特に脆弱な集団の具体的なニーズが顧みられていないといった要因が含まれます。この脆弱性は、全体的な識字率の低さによる訓練・スキル不足や、女性と女兒に対する職業訓練の欠如によって、さらに深刻化しています。



図1：極度の貧困率<sup>1</sup>

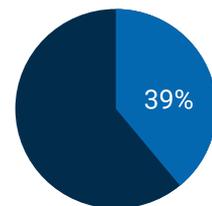


図2：バンディアガラのジェンダー比率<sup>2</sup>

## 目的

このプロジェクトは、バンディアガラ州を対象地域として実施され、暴力再燃のリスクを低下させるとともに、マリ全土と中央部の紛争被災地域、特にバンディアガラ州において、住民間、そして住民と国家当局との間の信頼関係を強化することを目的としています。プロジェクトの具体的な目的は、下記のとおりです。



必須の社会サービスへのアクセスを改善すること



即時の生計手段を提供すること



戦略的な安定化と移行に向けた措置を支えるため、全国、州、地方の各レベルで知識の管理と対話を強化すること

## アウトプット

01

必須インフラを整備し、若者と女性の基本的サービスへのアクセスを改善します。

02

女性と若者をはじめ、国内避難民 (IDP)、難民と受け入れコミュニティが、生計手段に平等にアクセスできるようになります。

03

市民社会組織 (CSO) の参加が拡大し、移行プロセスのモニタリングが充実します。

## SDGsへの貢献



<sup>1</sup>National statistics household census 2023  
<sup>2</sup>Bandiagara socio-economic and cultural program